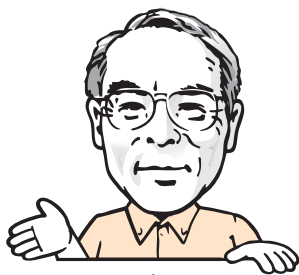


「提案 参加する市政に」

「合併したけれど、なにもいいことがなかった。」との声が聴かれます。理由は「補助金が減った」「サービスが悪くなった」等々…。合併初年度は合併に伴うコンピュータシステムの統一化など諸経費が増えたこと、財源不足もあり、補助金や行政サービスのあり方を見直し、経費の削減を図りました。そのため、合併前と比較して「減った」「悪くなった」ものが増え、不満の原因となっているようです。

合併は、役所の人件費や施設の管理費などの経費を削減して、新しいまちづくりをするために進められました。人口減少、景気の低迷などで歳入増が見込めないなか、高齢者が増え、年々福祉や医療・介護のための費用が増える状況です。これに対処するために、合併を機に、サービスの見直し、受益と負担の見直しなどを行っているのです。



七尾市長
武元文平

国も地方も、行政改革、財政改革が緊急の課題です。民間でできることは民間に、市民にできることは市民にお願いをして、経費のかからない「小さな政府、小さな役所」を目指さなければなりません。

「補助金が無くなったから活動をやめた」という話を聞くととても残念です。

補助金は、公共のため、将来のため、政策誘導などの目的で市ができない事業を支援するために交付するものです。市民の自主的な活動は、市民自らの努力と工夫で、補助金がなくても続けていただきたい。「机がないから勉強できない」といった理屈と同じで、行政や他人に頼らず、自ら考え、自ら判断し、行動する自立した市民であってほしい。

地方分権とは、地方のことは地方の責任と権限でやれということですが、権限も財源も限られています。国におねだりしても国は聴いてくれません。自治体自身の自己決定、自己責任でやらなければなりません。

合併の効果はすぐには出てきません。今は、大変革期です。将来に思いをはせ、旧市町時代のサービスと比較することなく、新しいまちづくりを提案し、参加する市民に変わっていただきたいものです。

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

開催日程

9月27日(火) 15:00～17:00
会場 田鶴浜支所 2階第1会議室
10月11日(火) 15:00～17:00
会場 本庁 男女参画まちづくり課
公務により、中止になる場合があります。

みなさんの提言やアイデアを聞かせてください!

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課 ☎ 53 1112

「市長への声」

読ませていただいております。

【お寄せいただいた「声」】

生活バス運行を!

年齢が増してくると日々の生活で交通の便に困ることが良くあります。病院へ行くにも役所へ行くにも大変です。自分で車などを運転できる方はいいのですが、できない方は、「少しお金がかかっても、生活バスが毎日あってくれれば良いのだが」と言っております。また、生活バスが廃止にならないかと心配です。

(女性から)

回答

「生活バスのようなものが毎日あればよい」とのご要望ですが、現在、市

において旧1市3町循環バスルート等の再編成を検討しています。運行コースの最低条件には、公共施設・病院・集落などが含まれており、各バス停として取り扱われることになっております。これらが実施されることになれば、ご要望には充分とは申しませんが、ある程度の要求には応えられることになると考えております。また、病院については独自で専用バスを運行されているところもあり、一度ご確認されれば幸いです。

男女参画まちづくり課

☎ 53 1112